

業種・団体の枠を超えた「防災・減災ネットワークづくり」



## 瀬谷区内の防災団体が 令和元年度 内閣総理大臣表彰を受賞

「Seiya 防災ネットワーク」<sup>※1</sup>の取組が令和元年度「防災功労者内閣総理大臣表彰」に選ばれました。

※1 「Seiya 防災ネットワーク」とは、平成24年4月6日に「自衛消防組織連絡協議会」の組織改編によりスタートしたものです。法や条例などに基づいた組織ではなく、区内の様々な業種・団体が「防災・減災」を合言葉に集い、学び、共に助け合いながら活動しており、令和元年8月現在、356の団体が参加しています。

### 1 表彰日

令和元年9月20日（金）10時15分から10時30分

### 2 会場

東京都千代田区永田町二丁目3番1号 内閣総理大臣官邸

### 3 受賞の理由

様々な業種・団体の枠を超えた「防災・減災ネットワークづくり」を、防災研修会や災害時要援護者等に関する各種取組を通じ、積極的に推進したことが評価されました。（詳細は裏面参照）

### 4 受賞の経緯

昨年度、第23回防災まちづくり大賞総務大臣表彰<sup>※2</sup>を受賞したことを契機に、今年度総務省消防庁から推薦をしていただき、内閣府の審査を経て、決定しました。

※2 防災まちづくり大賞は、阪神・淡路大震災を契機に創設され、防災について地域に根ざした団体・組織等の効果的な取組を表彰し、広く紹介することで災害に強いまちづくりを推進することを目的としています。

### 【防災功労者内閣総理大臣表彰の制度概要】

「『防災の日』及び『防災週間』について」（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として内閣総理大臣が表彰を行うものです。

取材を希望される場合は、下記お問合せ先にご連絡ください。

お問合せ先
消防局瀬谷消防署副署長 堀田 廣公 Tel 045-362-0119

裏面あり

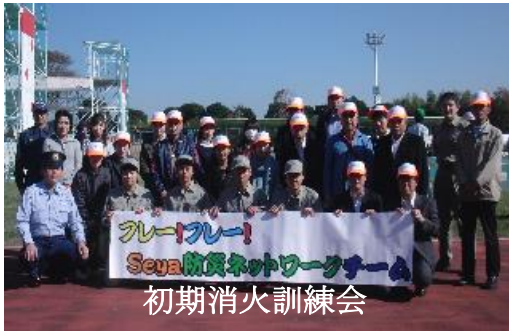
# 「Seya 防災ネットワーク」の取組内容について

## 【取組概要】

全体的な取組としては、顔の見える関係づくりを目指すために、新入社員や防災担当者向け研修会、初期消火訓練会、BCP研修や講師を招いた防災講演などを開催しています。

また、会員数が創立当初から約12倍にも増えたことから、フットワークを軽くするため、平成25年に「ピンチをチャンスに！減災共助の会」、平成26年には「小規模高齢者施設等分科会」及び「大規模高齢者施設分科会」と3つの分科会を発足させ、分野ごとの活動に取り組んでいます。

## 【主な取組内容について】



会員企業を集めた訓練交換会



各種研修会の開催



避難場所応援協定の締結



在住外国人向け防災講座

多言語対応の減災冊子を活用して実施



減災行動ワークショップ

災害時要援護者対策として実施



災害時要援護者理解講座

地域防災拠点運営委員会等を対象



合同消防訓練会・意見交換会

同業種の防災担当者などを集めて実施



コンクリートミキサー車訓練

大規模火災時の対応を協力して訓練

会員企業の協力による減災広報→



デジタルサイネージ  
熱中症広報

## 【その他の主な取組内容】

- ・「火災時の近隣施設間応援協力」→火災発生時に「火災通報装置の二次通報」により応援協力体制を構築
- ・「住宅用火災警報器設置・取付け事業」→会員団体や社会福祉協議会、民生・児童委員の協力のもと実施
- ・「警察機関と協力した相互間の広報活動」→振り込め詐欺や火災予防等について連携広報実施
- ・「聴覚障害者向け取組み」→タクシー事業者によるFAX配車、筆談対応への協力

## 【瀬谷消防署とSeya防災ネットワークの関わり】

瀬谷消防署では、Seya 防災ネットワークに対し活動内容の提案や企業間の橋渡しを行うなど、運営サポートを行っています。現在356の団体が参加していますが、会費等は徴収していません。

一部の活動（初期消火訓練会等）にかかる費用は、瀬谷火災予防協会から支援をいただいています。